

会議録

資料 1

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成29年度第5回定例会
開催日時	平成29年8月23日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：石田裕子、武司一郎、廣田幸雄、伊藤邦子、小野修平、伊尻由起、小安のぞみ、松嶋真、真鍋五十鈴、手塚 成隆、倉持伸江 職員：大橋館長、平井事業係長、長谷部分館長、山本分館長、水野分館長、神田社会教育主事、星野主査
欠席者	委員：矢野尊久 吉野みさわ、呉世蓮 職員：鴨志田分館長
議題	(1) 第4回定例会の会議録について (2) 報告事項 ①行政報告 ②公民館だより編集室報告 ③都公連関係報告(委員部会関係報告ほか) ④教育計画策定懇談会報告 (3) 審議事項 ①事業計画書・事業報告書について(資料2)(資料3) (4) 協議・確認事項 ①障がい者青年学級のあり方について ②関ブロ大会について (5) 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	平成29年度第4回定例会次第及び通知 資料1 平成29年度第4回 定例会会議録(案) 資料2 平成29年度公民館主催事業計画書 (5件) 資料3 平成29年度公民館主催事業報告書 (6件) 平成29年度東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会のお知らせ 西東京市教育計画策定懇談会第2回会議次第・資料 都公連委員部会第5回会議資料 平成29年度第5回公民館だより編集室会議録 要望書(田無公民館・中央図書館耐震改修について)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(2人) <input type="checkbox"/> 無し
会議内容	
議題(1) 第4回定例会の会議録承認	
(2) 報告事項	
①行政報告	平成29年第3回定例市議会日程 9月1日初日、9月4～9日一般質問、9月11日文教厚生委員会、9月12・13日予算特別委員会、9月21～27日特別委員会、9月29日最終日
②公民館だより編集室報告	委員：会議録に沿って要旨を報告。
③都公連関係報告(委員部会関係報告ほか)	委員：9月2日研修会の会場が昭島市公民館から市民交流センターへ変更。 2月3日(土)都公連大会4つの分科会のうち、1つを委員部会が運営。事例として西東京市の「子ども食堂」を取り上げる。公民館と地域が循環するような展開があれば新しい事例だろうというアドバイスを生かし、選ばれたと思われる。 館長：新入職員研修 11月9日(木)午後2時～4時

国分寺市・本多公民館

講師 佐藤 一子氏（国分寺公運審委員長）「国分寺の答申について」

④教育計画策定懇談会報告

委員：8月23日に第2回会議が開催された。市民意識アンケート調査、ヒアリング調査の概要について報告。次回11月28日（火）

委員：アンケートの内容はどのようなものか。

委員：小学生11p（4年生以上）、中学生は学校でアンケートに答えてもらう。おとなは無作為抽出。

館長：大人は14p。基本、学校での様子、地域とのかかわり、公民館、図書館について等。おとなは、だよりや利用についての項目がある。内容詳細については次回。

(3) 審議事項

平成29年度公民館主催事業計画書（5件）

【柳沢公民館】

- ・青年対象講座「Hip Hop Dance 入門」

【田無公民館】

- ・田無公民館利用者懇談会講座「KOUMINKAN入門」

委員：3時から4時が利用者懇談会か。

事務局：午後2時から3時まで講座を行い、3時から4時に利用者懇談会を行う。

【芝久保公民館】

- ・地域で創る教育ネットワーク講座「青少年の居場所としての公民館の役割」

【谷戸公民館】

- ・私たちの地域と歴史を学ぶ～田無の水と人々の暮らし～

【ひばりが丘公民館】

- ・高齢者の課題を考える講座「知りたい高齢者問題のあれこれ」

平成29年度公民館主催事業報告書（6件）

【柳沢公民館】

- ・第12回人形劇フェスタin西東京

委員：好評のようで、たくさん人が来て、課題も多かったと思うが、運営側の参加団体・ボランティアと来人のバランスが難しいのでは。来年度どう検討していくのか。

事務局：以前田無公民館、市民会館で行っていたのものだが、柳沢は初めてである。来館者は読めなかった。事前に整理券を配ったので、大きな混乱はなかった。事前インフォメーションがあまりなかったので、今後は必要だと思った。出し物の出し方、団体数が減ってきているので、来年度は早い段階で呼びかけていこうと反省会で確認した。

【田無公民館】

- ・第11回公民館まつり

委員：フィナーレが楽しかったという意見があったが、どのような感じだったのか。

事務局：参加サークルの横の繋がりを大事にし、交流演奏ということで各サークルの楽器を使って参加者全員で合唱。今年は3曲を歌った。あめんぼの発表の後、楽しく終わった。

委員：一体感があった感じで、横の繋がりがあってとても良かった。

【芝久保公民館】

- ・子ども講座「はじめよう理科読」

委員：お父さん世代を巻き込むため子どもを絡めないと、なかなか参加できないし、学校の先生も来てもらえると良いと思う。

- ・子ども実践講座「遊びの楽しさを知ろう！」

【谷戸公民館】

・親子で自然を学ぶ「谷戸セミナー」 “セミの羽化観察会”

委員：公民館らしい講座だ。羽化する中、大好評だったようだが、講師の方は、地域の方か。夜で、運営はどのようにしたか。

事務局：講師は退職した地域の方。公民館へも頻繁に足を運び専門員と交流を行う。谷戸まつりアースデイ等にも、関与している。

委員：ボランティアはどんな方か

事務局：西東京紫草友の会会員に協力を頂いた。

委員：男性の定年退職した方と、地域の中で循環となってよいのでは。

委員：羽化はどんな時に行われるのか。

事務局：羽化する日時は不定期。当日雨、翌日に持ち越したが無事観察できた。蒸し暑く夕立のあった日没以降に羽化が始まるといわれている。

委員：報告書の公文書としての書き方をしてほしい。

事務局：初回、担当事業の成功体験が大事、次から留意する。

【保谷駅前公民館】

・0才からのコンサート「親子で楽しむ音とアートの世界」

委員：ベビーカーでも参加できるのは、公民館ならではのと思った。生で聞くのは未就学児を連れては無理なので、とても良い企画だと思った。

(4) 協議確認事項

①障がい者青年学級のあり方について

委員：昨日谷戸に集まった。

事務局：要綱について。入級と活動内容、退級について整理する。社会教育施設における入級条件、企画運営、青年学級としての対象年齢を考えて行きたい。重点事業の為、公民館全体で取り組む。

委員：要綱案は今まででできたものをとりあえず、盛りこんだということだ。障害福祉課長も来てくれた。1.7人に一人つくと、専門員二人で40人見るのは、あまりに違う。館長から専門員が一同に集まって話し合ったらどうかという意見をもらった。学級を見学した。学級生が急に出て行ってしまう場面もあり、かなり危ないと思った。責任問題も出てくるだろう。きちんと仕組みを作っていくことが必要。

委員：障害福祉課長は、重度であっても生涯教育の権利があると話していた。なかなか難しいが、何らかの工夫や、やり方を統一することも必要ではないか。

委員：考え方を整理することが大切だ。

委員：ボランティアについて障害福祉課長は何かいっていたか。

委員：障害福祉課では、スポーツは、早稲田の学生ボランティアを無償で頼んでいる。

委員：サポートしてもらう人が足りない。福祉からみると難しい。

委員：ボランティアの募集先を変えていくのは。

委員：内容を変えることより、それ以上に安全が大切。

委員：障害福祉課長の障害のある人もない人も一緒に生涯学習をやっていくという意見が印象的だった。

委員：田無の40人を、半分他の公民館に移すというのは。

館長：彼らが集まってくるのは、半分にすることより、人と人とのつながりであり、その場に集うことに意味があるからだと思う。

委員：外部と連携することはないのか。別の部署からの仕事や研修で来てもらうことはできないのか。可能性の1つとして考えられないか。

委員：社会福祉協議会のボランティアセンターはどうか。

委員：ボランティアの申請に、障害者にチェックが入っている人を紹介してもらうのはどう

か。

委員：民生委員も障がい部会がある。何をするか。

委員：いきなり行っても、かえって足手まといになるのではないか。障がい者も市民だということを皆さんに知ってほしい。

委員：なぜ、公民館で障がい者の講座があるかと思ったが、それが必要で、気長にやっていくことが重要。

館長：何をやっていいかわからないと、参加できない。より具体的に出していかないと集まってこないと思う。

委員：一緒に学べたかを、感じるのは大切。

委員：何をしたらよいかは、わからないとは思いますが、一緒に行動、考えが大事だ。自分がまず受け入れること。

館長：子どもたちに、ボランティアをやってもらうことも必要

委員：学校とコラボしていくことも大切。都立高はそんな課程もある。

委員：こんなボランティアがほしいという募集を出していく。

委員：高校のボランティア部はどうか。大学の福祉部、先生とのつながりがあったら協定を結んで出来るのではないか。

委員：専門員24人が、一緒に関わられるようにしていく。

館長：不安を抱えながら事業することをなくしていくことが先ではないか。

委員：一度、皆が参加するのはどうか。

委員：学校も似た状況。いろんなことで、ボランティアを求めている。来た時に達成感を持ってもらわないと、続かない。ウイン、ウインの関係を作るのが難しい。ボランティアをコーディネートする地域の核になる人が必要。時間・労力・行政的支援が必要。

館長：公民館が、それができるかもしれない。

委員：ボランティアをサポートする人も必要ではないか。

館長：公民館が、コーディネーターができるような講座を作るのも大事だ。

委員：社協の障害者のボランティアはすごく少ない。公民館と連携していくと良い。

委員：ボランティアという言葉だと、ハードルが高く、お手伝いだと割と来るのでは。

委員：今後は、専門員の話し合いと、ボランティアの募集が必要である。

(次回 9月11日(月)、18時30分～ 作業部会を開催する)

②関ブロ大会について

事務局：36名参加 (東京都・8市・国立教育研究所) 西東京市11名参加
会場は、中央公民館5階
朝5時45分に柳沢公民館出発予定。帰りは午後3時頃。 12時終了

(5) 事務連絡及び情報交換

委員：田無公民館の地下トイレが男女混合なので、要望書を作った。来月提出するので、意見があったら次回までに出してほしい。

事務局：答申についてどのように作ったか、市民の方がお話を聞いてみたいという声があるので、前向きに考えてもらいたい。

事務局：9月16日(土)12時半 オープニング 13時開催 駅前フェスタを開催する。
8月1日から、欠員だった専門員が2名配属された。

次回の日程について

平成29年度第6回定例会

9月27日(水)18時30分～

於:柳沢公民館 第1会議室